

11

51歳の男性。仕事中に3mの高さから転落し、外傷性脳損傷を生じ入院した。受傷2週間後から作業療法を開始した。3か月が経過し運動麻痺はみられなかったが、日付がわからない、1日のスケジュールを理解できない、感情のコントロールが難しい、複雑な作業は混乱してしまうなどの状態が続いた。作業療法で適切なのはどれか。

1. 静かな環境で行う。
2. 新規課題を毎日与える。
3. 複数の作業療法士で担当する。
4. 不適切な言動には繰り返し注意する。
5. 集団でのレクリエーション活動を導入する。

26

びまん性軸索損傷の患者で正しいのはどれか。

1. 運動失調は呈さない。
2. 認知障害の回復は良好である。
3. 四肢、体幹の外傷の合併は少ない。
4. 四肢、体幹の関節拘縮を生じやすい。
5. 社会的行動異常が生活上において問題となる。

34

左半側空間無視に対する作業療法で適切なのはどれか。

1. 間隔伸張法
2. 自己教示法
3. 視覚イメージ法
4. プリズム適応療法
5. 右後頸部振動刺激